

### ③ 不規則重積性

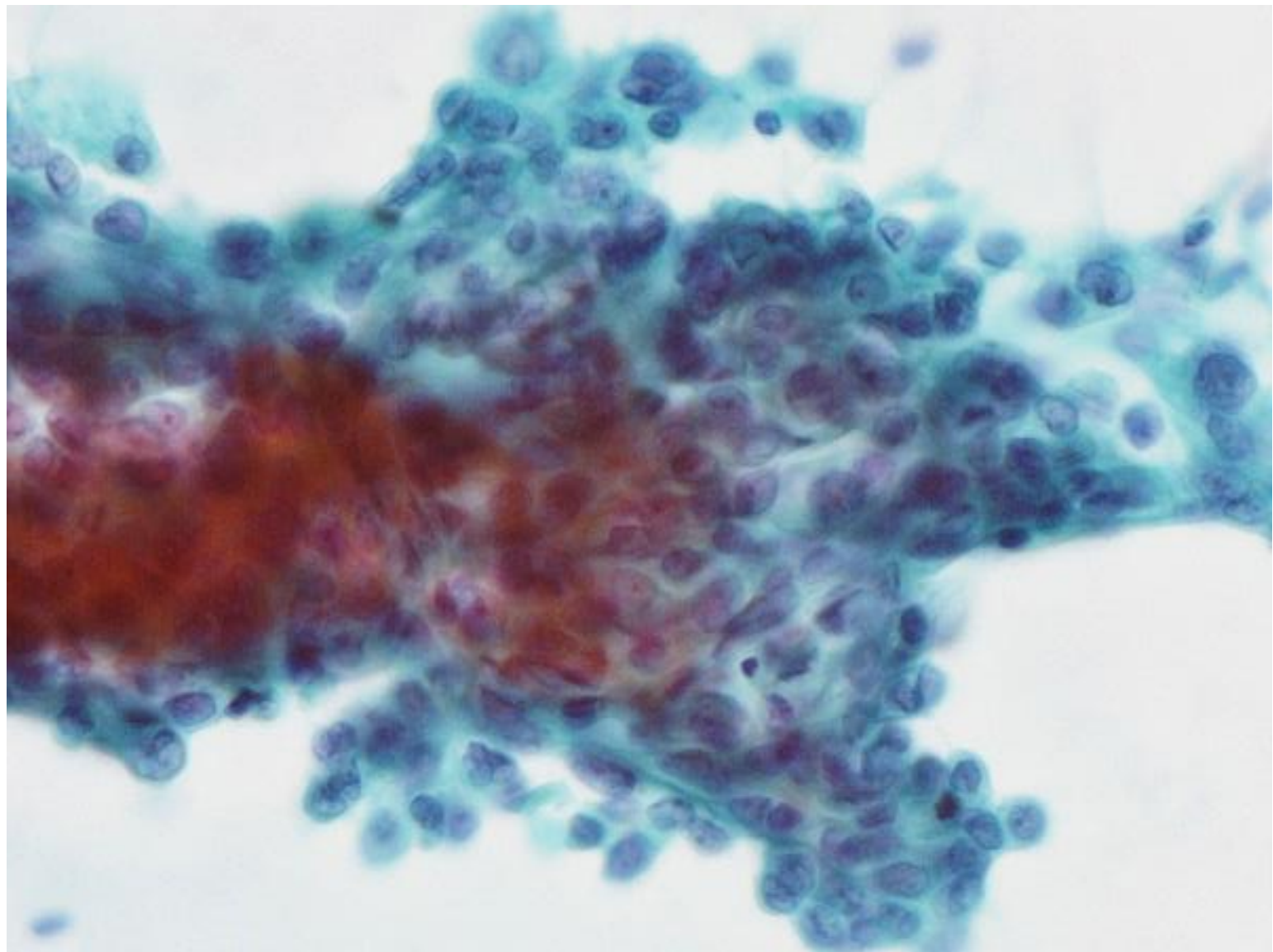
#### ・定義

3層以上の重なり合いがみられる立体的な細胞集塊で、不規則な配列が認められる。

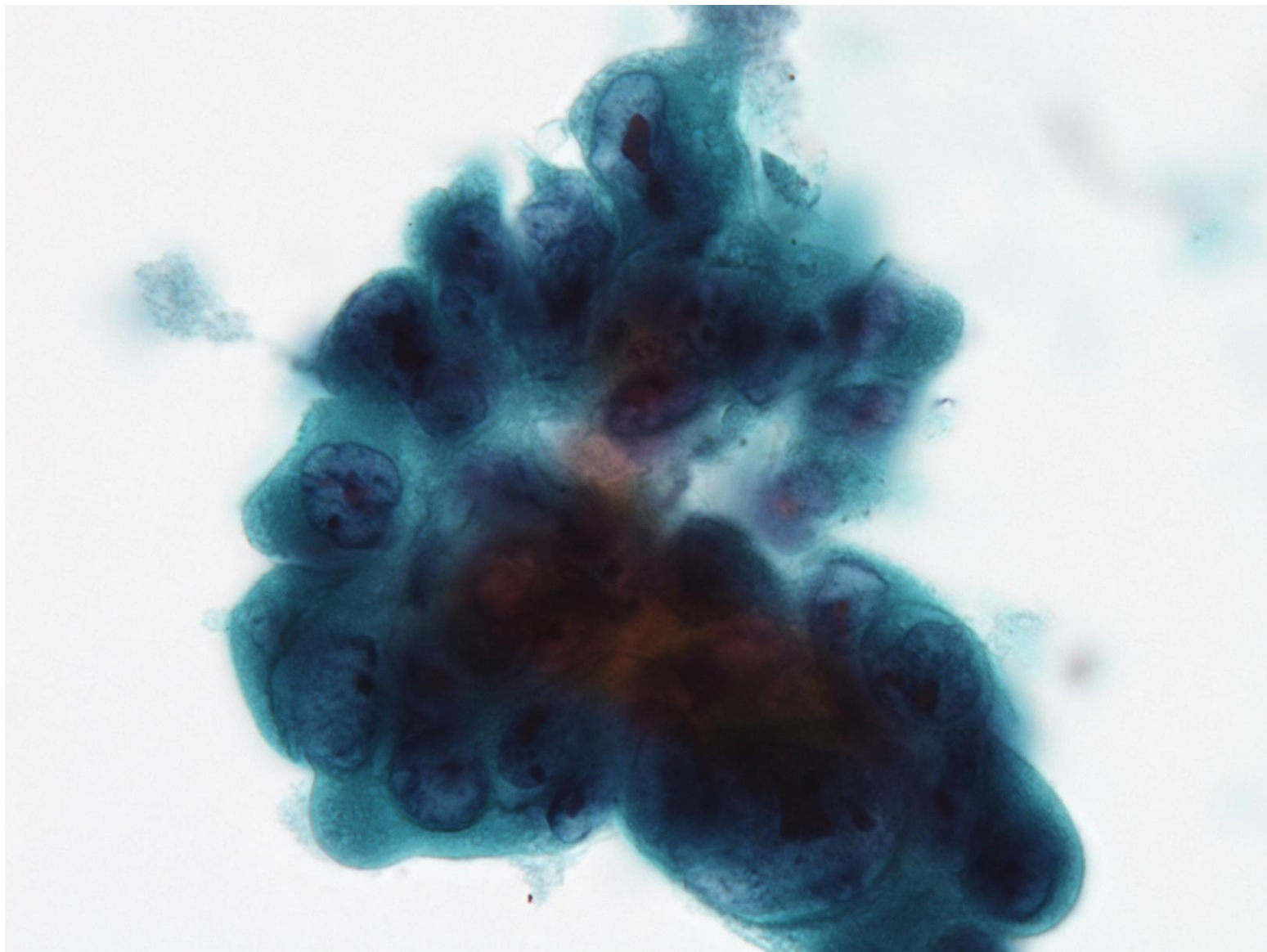
#### ・組織型の推定と補足

組織学的に腺癌では、乳頭型、腺房型、充実型を主体として増殖する浸潤性腺癌で見られる。細胞学的に2層か、3層か不明瞭なものは不規則重積性とは判定しない。また、3層以上重積性がある部分で、不規則な配列があるかどうかを判断することが大切である。

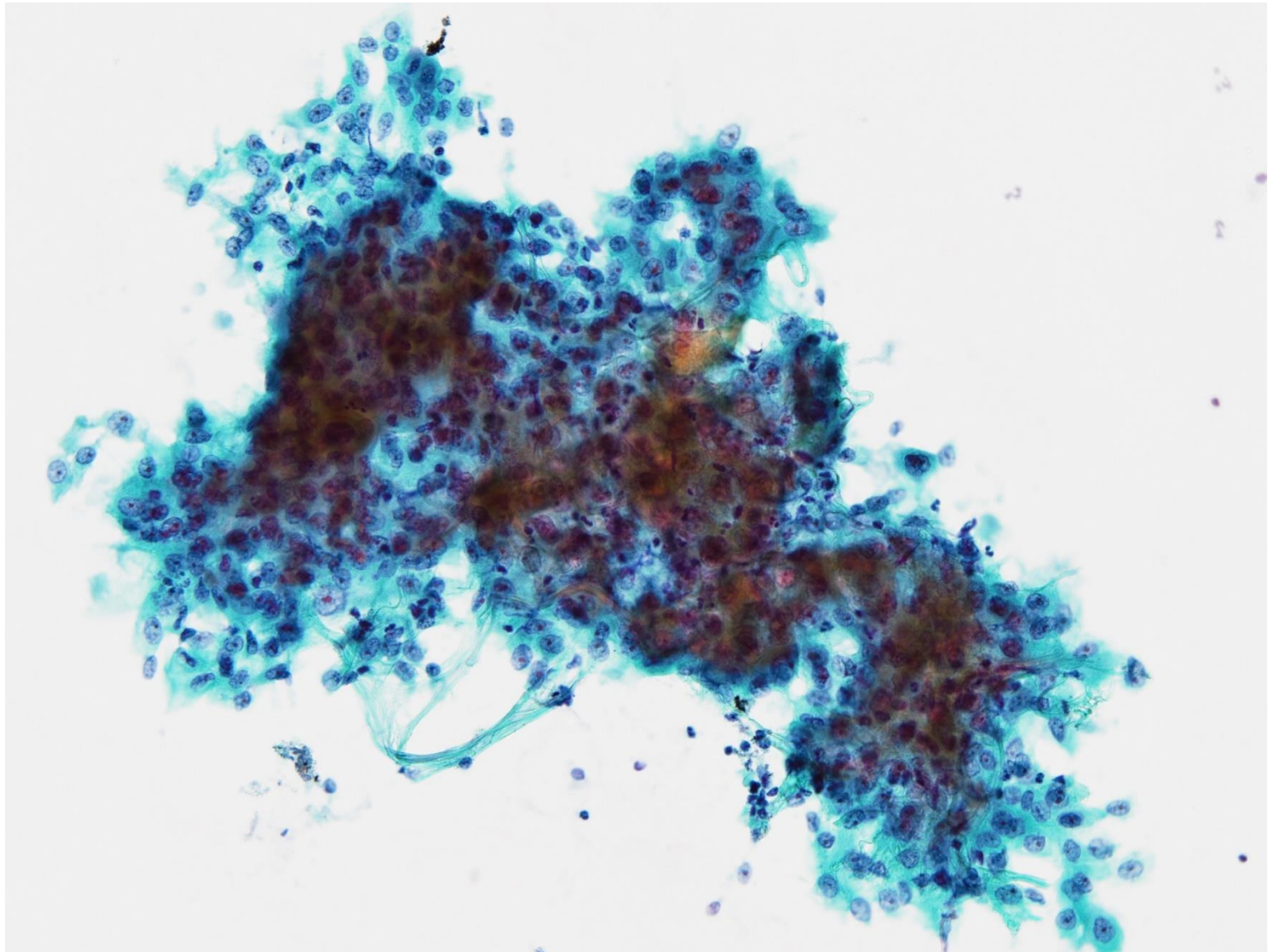
組織学的に扁平上皮癌では、腫瘍細胞が一定の方向に規則正しく層状に配列する細胞集塊が認められる。そのため、細胞学的に新鮮な材料では、重積性を示す立体的な細胞集塊を認めるが、不規則な配列ではなく、規則的な配列を示すことが多い。



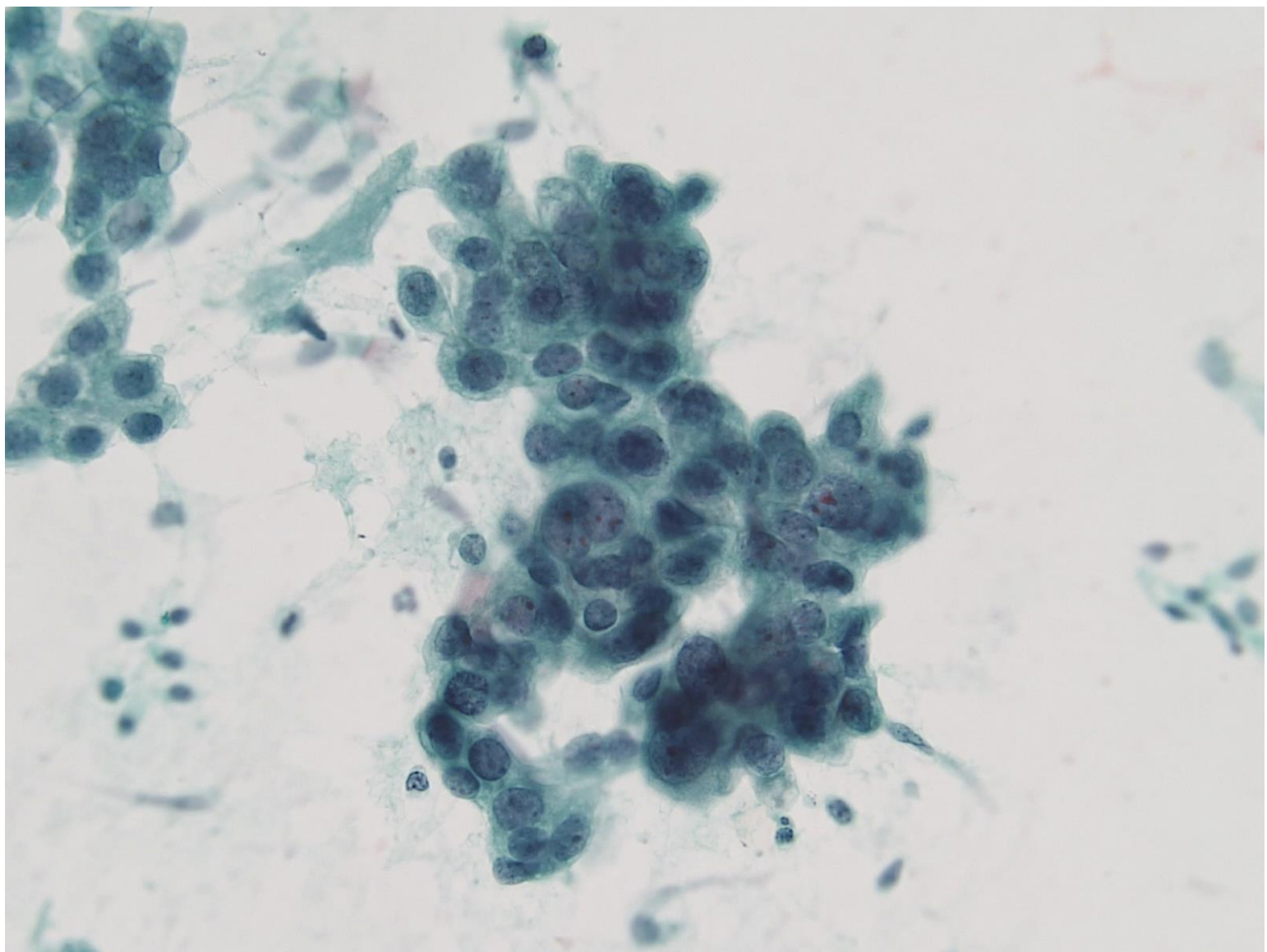
**定型例** ③-1 (擦過、腺癌、用語の一致率100%) : 3層以上の重積性を示す大型細胞集塊を認める。重積性のある部分では、腫瘍細胞の不規則な配列がみられるため、不規則重積性と判定する。



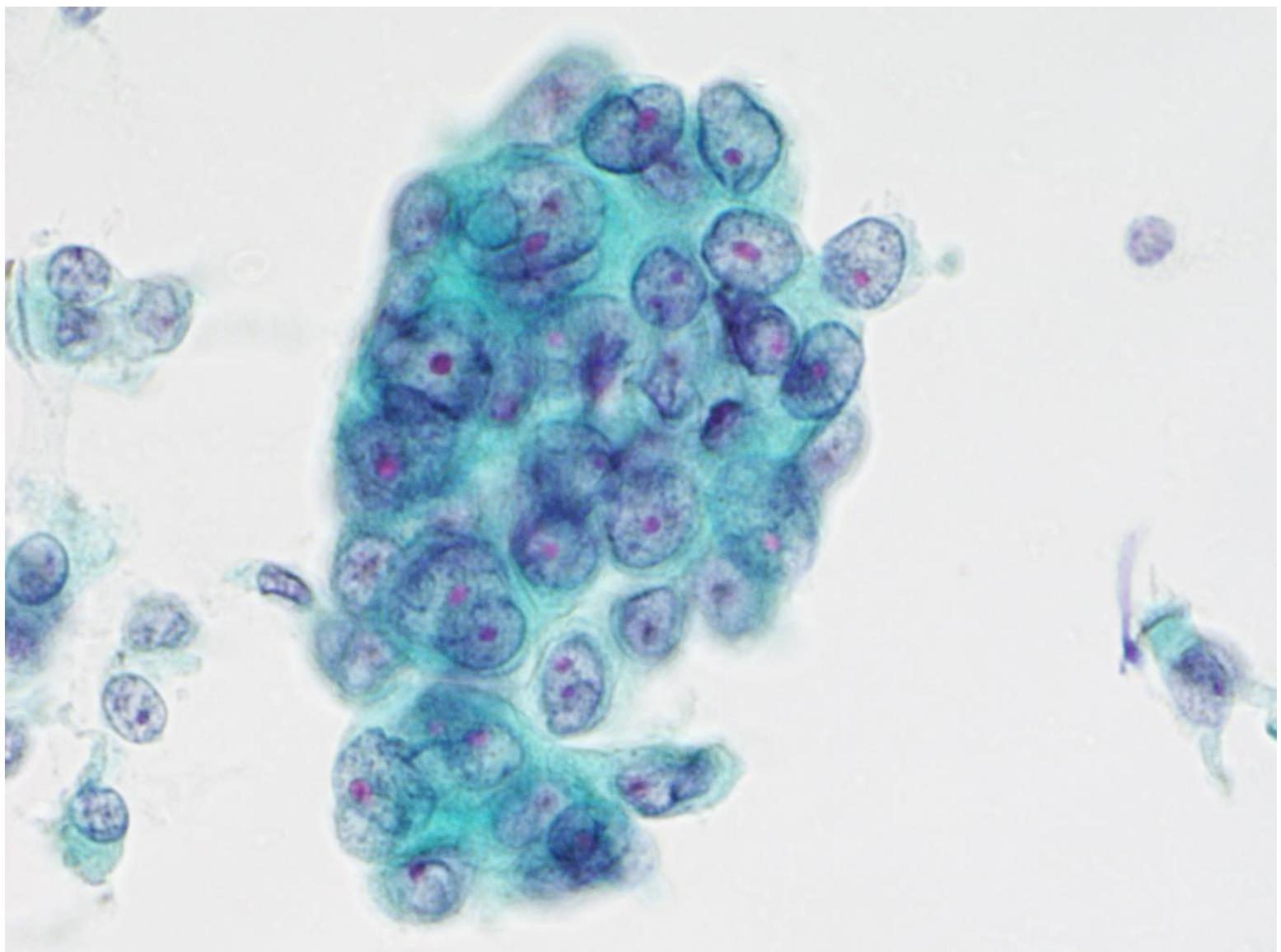
**定型例** ③-2 (EBUS-TBNA、腺癌、用語の一致率90%) : 重積性のある中型細胞集塊である。右下部分では、明らかに3層以上の重積性があり、不規則な配列をとまっている。そのため不規則重積性と判定する。



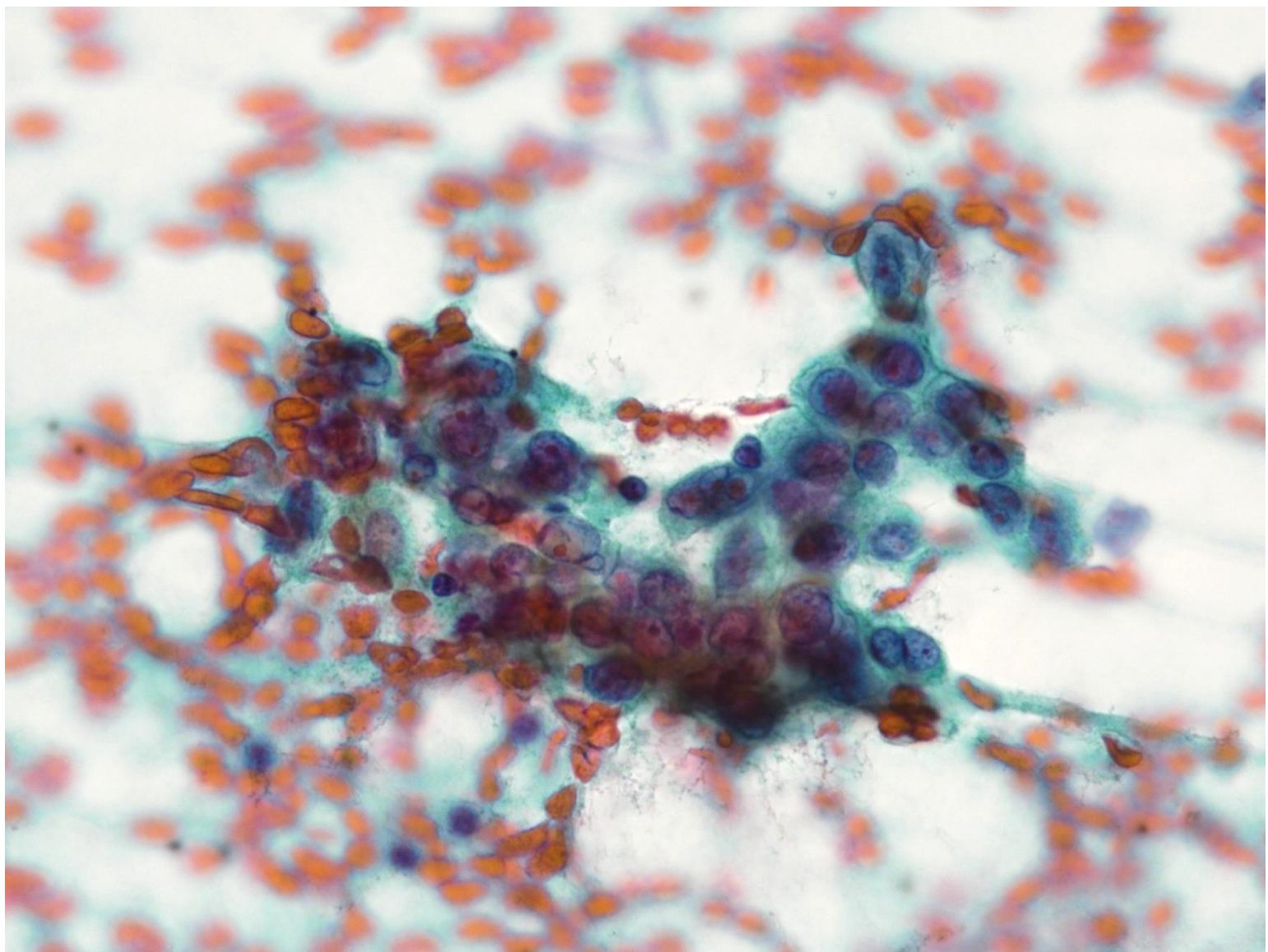
**定型例** ③-3(擦過、腺癌、用語の一致率100%): 重積性の目立つ大型細胞集塊が認められる。明らかに3層以上で、不規則な配列も顕著である。不規則重積性と判定する。



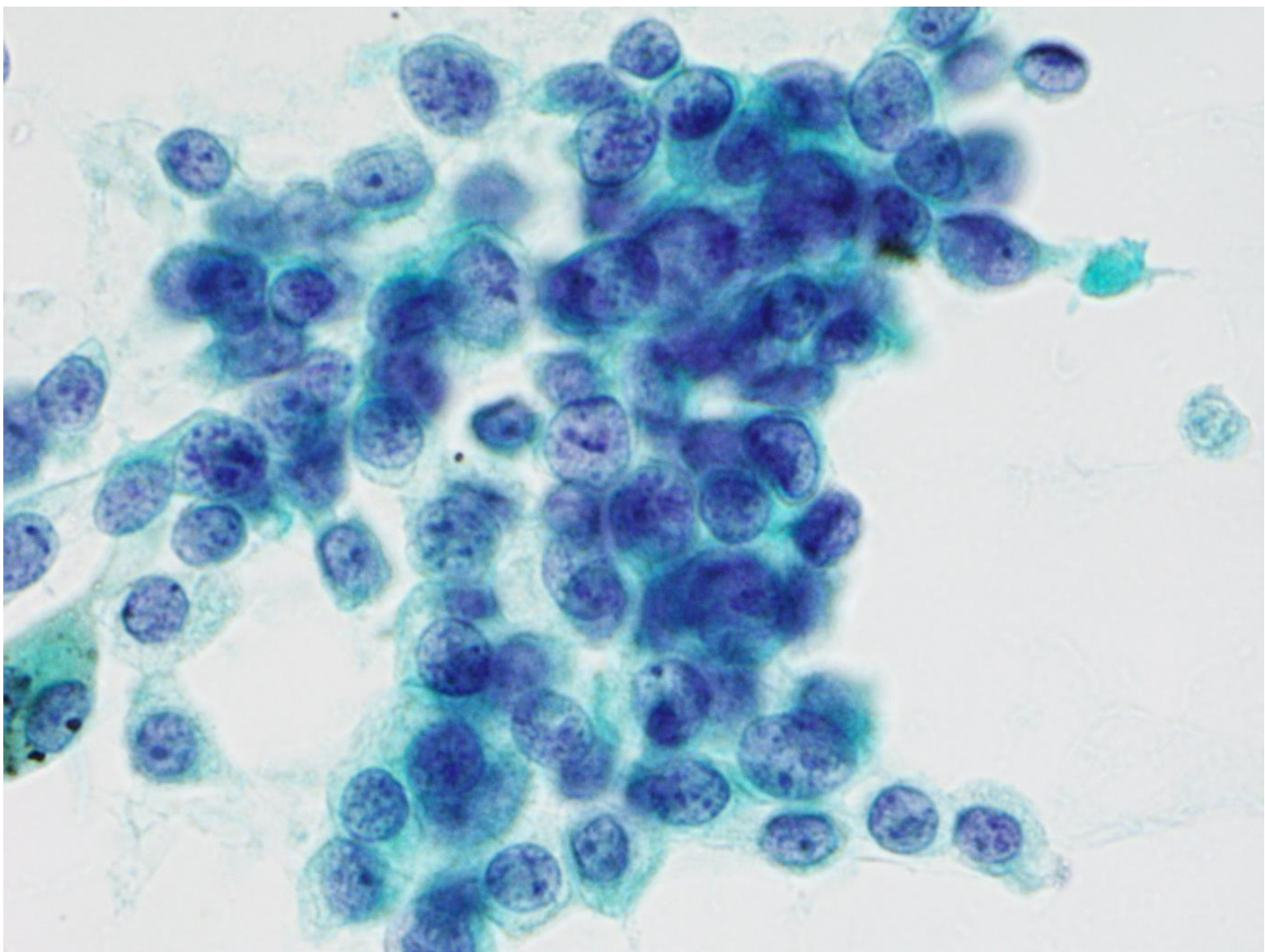
**定型例** ③-4(擦過、腺癌、用語の一致率80%): 不規則な配列を示す中型細胞集塊である。集塊内では2層あるいは3層の重積性が認められる。不規則重積性と判定する。



③-5(擦過、腺癌、用語の一致率40%): 不規則な配列を示す中型の細胞集塊である。2層程度の重積性はみられるが、3層以上あるかどうかの判定に悩む症例である。そのため、不規則重積性とは判定しない。軽度重積性を示す細胞集塊と表現する。

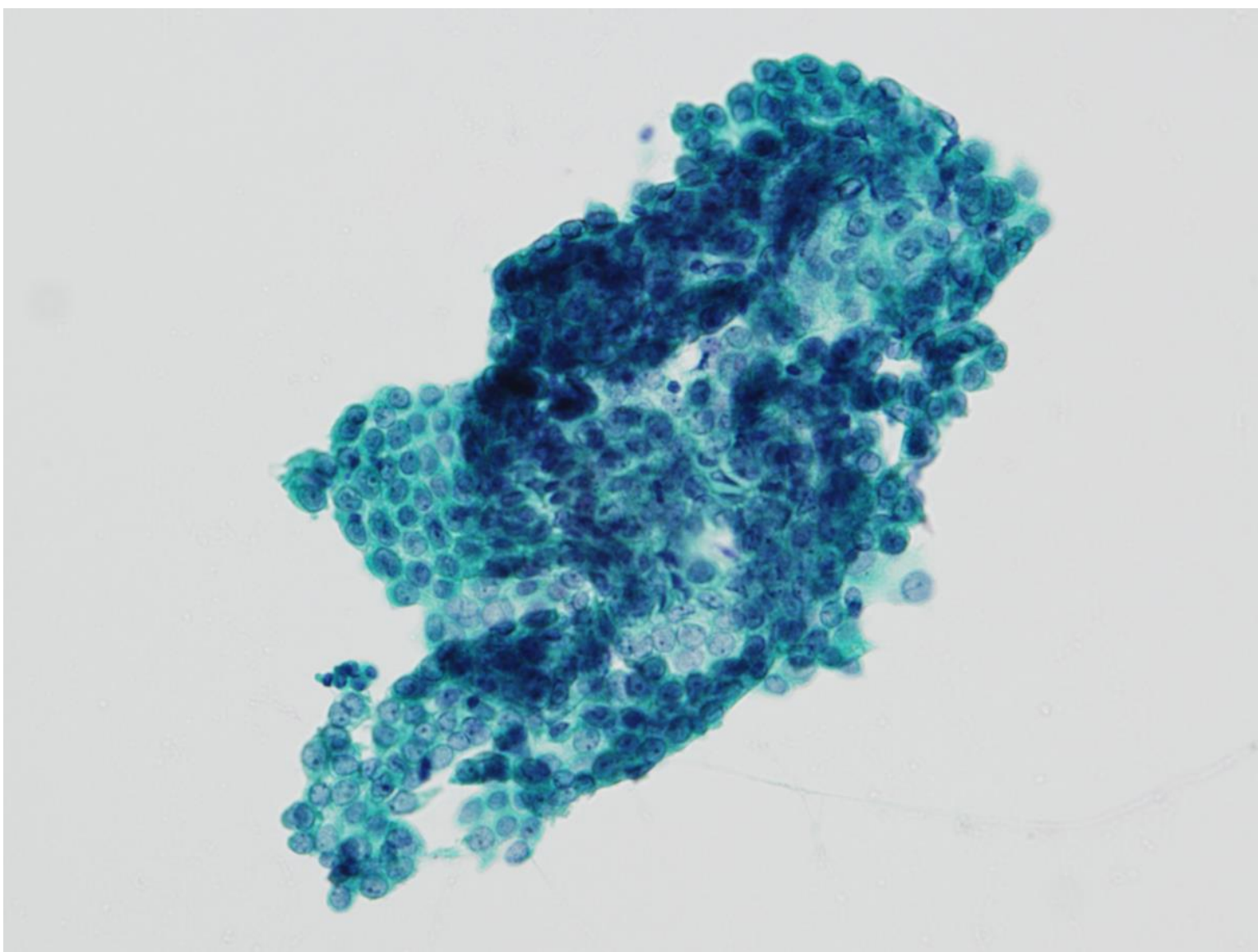


③-6(捺印、腺癌、用語の一致率50%):1層~2層の重積性を示す中型細胞集塊を認める。不規則な配列はみられるが、3層以上の重積性があるかどうか不明瞭な症例であるため、不規則重積性とは判定しない。軽度重積性を示す細胞集塊と表現する。



③-7(捺印、腺癌、用語の一致率40%): 右上の部分では重積性が2層か、3層か意見の分かれるところである。このように3層かどうか不明瞭な症例は不規則重積性とはしない。軽度重積性を示す細胞集塊と表現する。尚、緩やかな結合性のため、腫瘍細胞の配列の乱れは評価しにくい。





③-8(擦過、腺癌、用語の一致率60%):大型細胞集塊内の一部では、平面的な配列が認められる。また、折れ曲がりにもなう重積性のある部分では、2層か、3層か不明瞭で、腫瘍細胞も比較的規則正しく配列しているように見える。不規則重積性とは言えない。